

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 2 日現在

機関番号：32617

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24530600

研究課題名(和文) 移民流入と伝統的低位職の地位変更に関する考察：比較研究の視点から

研究課題名(英文) A comparative research on the relationship between the influx of migrants and the improvement of the status in the traditionally lowly regarded occupations

研究代表者

西村 祐子(nishimura, yuko)

駒澤大学・公私立大学の部局等・教授

研究者番号：80276451

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,000,000円

研究成果の概要(和文)：低職位としての皮なめし業と介護業について移民集団がその職位を上昇し得る場合両者ともに近代国家が必要とする位置づけにおかれる場合当該国での職位が大きく変わってくることが結論づけられた。皮なめし職人および皮革商人として活躍したディアスポラ集団のユダヤ人、アジアで同種の役割を担った客家集団においては血縁・エスニシティによる結束だけでなく近代軍需産業の一環と結びついたことが重要な職位上昇の鍵であった。反面日本の場合皮なめしを伝統職とした集団と国家産業との結びつきが弱いことが地位上昇の妨げとなった。介護職においても医療保険制度と結びついた場合移民であっても職位が上昇していくことが結論づけられた。

研究成果の概要(英文)：This research focuses on the process of the improvement of social status in traditionally lowly regarded jobs such as the tanners and caregivers, how such low status could be improved by the influx of migrants in those sectors. In the Western and Asian societies, lowly regarded tanners position improved by the migrant population such as the Jews and Hakkas. When they succeed in working with the modern state, their traditional occupation no longer involved social stigma. On the other hand, Japanese tanners could not do so in spite of their contribution in the modern skinning and tanning technology. As for the low status of the care givers in Asia, Asian migrants' status as care givers improve in their host countries when their skills are recognized by the state, i.e. the national care giving insurance system. The improvement of social status therefore depends on the creation of the system of public recognition which is backed up by the state.

研究分野：社会人類学

キーワード：低職位 移民 皮なめし 介護 近代国家

1. 研究開始当初の背景

日本における同和地区における被差別の実態を研究するなかで、歴史学者らの研究ではともすれば皮なめし・製革が穢れの思想と結びつき差別につながるといった視点での研究者の視点があり、それらが宗教学や文化人類学者の研究にも反映されており、筆者はそれに強い疑問を抱いていた。西欧やアジア諸国でも現在はタブーがないが、元来皮なめし業は以前は賤業とされ、移民集団のなかでもユダヤ系、客家、イスラム教徒などでディアスポラでありマージナルな社会的地位にある集団と当該地域で結びつけられていたが、皮革業集団の発展の歴史は日本とは異なっていた。彼らの場合、近代国家の軍事体制および産業革命と結びつき、特に15 - 6世紀以降特に目覚ましい職位の向上を果たしたからである。そこで伝統的低位にある職と当該社会・国家とのかかわりの変化についての視点を従来の日本の議論は見逃しているのではないかと考えた。分担研究者の小川も低位職である介護業とポスト近代社会における国家ライセンスシステムの存在に注目しようと考えた。インドネシア、フィリピンなどから東アジア諸国(韓国、台湾、日本)にやってくる女性介護人の社会的地位の向上についても受け入れ国の国家体制のなかにいかに組み入れられているかによっても社会的地位が変化するのではないかと予測された。しかしいずれもこれまでは比較文化的視点による分析はなされていなかった。

2. 研究の目的

伝統的低位職とされてきた皮革なめし業や介護セクターに携わってきたマージナルなディアスポラ集団の社会的上昇がどのようにしてなされたか、あるいはなされる可能性があるか。社会資本が移動、変更、交換されるなかでどのように地元集団と当該集団は交流してネットワークをつくりあげてきたか。国民国家を基点として論じられた二重労働市場論や分割労働市場論、あるいは移民送り出し国と受け入れ国との労働資本の従属関係の生成論でどこまで説明が可能か。日本の被差別部落が伝統的にかかわってきた皮革部門において、移民集団はどのようにかかわってきたか。多文化理論のなかではエスニック・アイデンティティなどの自覚・共有がマイノリティの一体化による運動によって克服されるといった方向性がみられるが議論の弱点も指摘されている。本研究では従来の多文化論に対しむしろ専門性の高い伝統的職業が社会的に認知されるプロセスに職位が変貌する鍵があり、そこに伝統的な上位・下位論や浄・不浄論が変貌するプロセスもみられると考えた。伝統的低位職に関わる移民集団と国家との関わり方の変貌を考察することであらたなアイデンティティ論を

導き出したと考えた。

3. 研究の方法

内外の専門家との協働セミナー、インフォマントへの集中インタビュー、フィールドワーク。文献研究。

4. 研究成果

調査のなかで被差別部落の歴史研究者らの支援や英国ノーザンプトン大学・台湾大学などとの提携による比較研究が進んだ。ひょうご部落解放人権研究所などとの研究連携関係も出来、一般に対する啓蒙としての論文発表の機会として同研究所の機関紙などを通じて年間を通してシリーズで掲載されることとなった。そこで一般にも研究が身近な形で公表できるようになった。西欧や他のアジア諸国における移民マイノリティ集団で皮革業に携わり、職位をあげるようになった集団と近代国家との繋がりについて注目することができるようになった。特にインドにおけるイスラム教徒がかかわった皮革業と不可触民がかかわった皮革業のセクターは異なっていること、ユダヤ集団が紀元前後以降皮革専門集団として財をなしたこと、客家集団が民族ネットワークを利用して皮革・製靴業で19世紀以降東南アジアで大きな成功をおさめ、社会的地位を向上させたことがわかった。調査の結果日本の被差別部落が担っていたのはユダヤ系や客家などが参与していた分野と類似しており、高度な技術面と販売部門でのネットワーキングであることも判明した。明治維新时期以降の日本の皮革産業の担い手として被差別部落出身の職人集団が大きな役割を果たしたことがあきらかとなり、多文化主義理論のなかで見過ごされてきた職域の専門性によるアイデンティティの構築のテーマが重要であるという点を確認した。また、小川は韓国、台湾、日本における介護者の地位を比較するなかで、公的領域に組み込まれ、職位を上昇させるのに成功した事例として日本でのインドネシアの介護ワーカーの事例に注目し、国家資格による職位のバックアップが極めて重要であることを他の地域との比較において論証した。代表研究者は現在日本語での論文作成とともに、英語での著作としての発表をめざしており、章構成などを行っている。分担研究者の小川らは現在成果を作成中の博士論文(東京大学大学院に2016年提出予定)の一部として発表する予定である。分担研究者のホワイトは現在マルチカルチュラルイズムとプロフェッショナルアイデンティティの関連性についての議論を整備しつつある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計16件)

2015 西村祐子 皮革の社会史 (1): ユダヤ人と皮革業 ひょうご部落解放 vol. 155, pp.56-72.

2014 Yuko Nishimura A socio-historical study about the marginalized status of Japanese leather workers, international conference on advances in economics, management and social study, vol. 1, pp.94-98,2014.

2014 小川玲子 グローバル化するケア労働と移民、地球社会統合科学セミナー、vol. 6, 1-22.

2014 Yuko Nishimura A socio-historical approach towards Japanese leatherworkers: A cross-cultural perspective, the journal of society of leather technologists and chemists (SLTC), vol. 97, 22-35.

2014 小川玲子 「経済連携協定による外国人介護職の受け入れから5年」, Migrants ネットワーク、p18-19

2014 Bruce White Japan's Possible Futures: Pivots of Social Transformation, in Global Ethnographic, Vol. 2 (1) 1-33.

2013 小川玲子 超高齢社会の介護を支えるのはだれか」ダイヤニュース」ダイヤ高齢化社会財団、No.72, 2013, 3-6,

2013 西村祐子 日印英比較の視点からみる社会史としての皮なめし業 vol. 150 ひょうご部落解放 pp.66-80,

2013 西村祐子「英国における皮革業の社会史：比較文化史の視点から」駒澤大学外国語論集14号 pp.65-109.

2013 Bruce White. *Transforming Conflict and Building Cohesion through Identity*, Conference Report, OICD, Doshisha University,

2013 Bruce White 'Regenerating Failed Socio-Cultural Identities: The Physiology and Treatment of Compromised Representational Systems Identity,' *International Journal of Theory and Research*, .vol.15. pp.45-54

2013 Bruce White tradition, democracy and the townscape of kyoto: claiming a right to the past, vol. 16-2, pp.318-320, social science Japan journal

2013 Bruce White. Report on Transforming Conflict and Building Cohesion through Identity, 2014, 3(1) pp. 24-35. Global resource management Journal.

2013 Reiko Ogawa "Demographic Change and Migration of Care Workers: State, Care Facilities, and Migrants", Eds. Tai Wei Lim & Nagy Stephen, *Japan's Demographic Future: Opportunities and Challenges*, Edwin Mellen Press

2013 Reiko Ogawa Configuration of Migration and Long Term Care in East Asia: Intersections between Migration Regime and Care Regime in Japan and Taiwan, Risk, Life Course and Social Exclusion in Asia: A Social Policy Perspective, City University of Hong Kong

2012 Reiko Ogawa Conceptualizing

Transnational Migration of Care Workers; between Skilled and Unskilled, ASIEN: the German Journal on Contemporary Asia, Nr. 124, 2012, pp.95-114.

〔学会発表〕(計20件)

2014 Yuko Nishimura ' Jews, Muslims, and Chinese- the ' Other side ' of Leather Workers ', University of Northampton, 招待講演

2014. Yuko Nishimura From Craftsmen to Workers- the transformation of Leather Workers in the 18-19th century England and France, ' University of Northampton 招待講演

2014 小川 玲子「東アジアのケア労働と移民」、保健医療社会学会、東北大学、学会発表

2014 小川玲子「介護人材の国際移動について」『やってきた介護職場のグローバル化』, インターアジア, 電気ビル, 招待講演

2014 小川 玲子「グローバル化するケア労働と移民」、第6回地球社会統合科学セミナー、九州大学 学会発表。

2014 小川玲子「東アジアのグローバル化するケアワーク：日韓の移民と高齢者ケア」『相關社会科学』

2014 小川 玲子「東アジアのグローバル化とケア労働の変容」、多文化間精神医学会、長崎大学、学会発表

2013 Yuko Nishimura from witchcraft to technology, a social history of leather workers, Society of Leather Technology and

Chemists, 2013, april 24, university of Northampton 招待講演

2013 Yuko Nishimura Tannery workers, artisans, outcastes, or both? Museum of Leather in Northampton, 2013, April 29. 招待講演。

2013 Yuko Nishimura A social history of Japanese white leather in Himeji, Japan. University of Northampton, Institute for Creative Leather Technology, April 30, 2013. 招待講演

2013 Reiko Ogawa, ' Migration Policies and Care in East Asia, Comparing Care-Migration Regimes Across Familialist Welfare States in Europe and Asia ' , Collegio Carlo Alberto, Torino, 学会発表

2013 小川玲子 「ケアの人材大国フィリピン」、日本福祉施設士会、九州・沖縄ブロック、熊本市。招待講演 2014

2013 Reiko Ogawa Configuration of migration and long term care in East Asia, A social policy Perspective, 2013, 6/13, city university of Hong Kong. 招待講演

2013 Reiko Ogawa, Migration and Care-work in East Asia, Taipei Medical university, 2013/ 03/09. 招待講演

2013 小川玲子 看護・介護分野における日本語教育集中研修講座「インドネシア・フィリピンの看護・介護事情」、国際交流基金・日本語教育学会,九州大学国際ホール、学会発表

2013 Reiko Ogawa Incorporation of

Migrants into the Care Workforce
Hawaii Pacific Gerontological Society 17th
biennial conference, Sept. 11, 2012, Hawaii.
招待講演

2012 小川玲子 日韓のケアワークと移民
(日韓多文化国際シンポジウム 「文化的に多
様な社会に向けて：日韓比較」神戸大学招待
講演 2012.09.08

2012 Bruce White Sustainable identities,
cohesive communities ; an
interdisciplinary investigation into
intra-cultural development theory and
application, OICD at Doshisha University.
09/08

2012 Reiko Ogawa, transformation of
family, care work and migrants, family at
risk vulnerability and complexity', East
and West, Oxford institute of social policy,
2012, 05/04. Oxford.

2012 Reiko Ogawa Disjunction between
care, migration and free trade agreement,
international political science association
(IPSA), Universidad completeness de
Madrid, Madrid, July 08,学会発表。

〔図書〕(計 5件)

2014 Yuko Nishimura et. Al. ' A
Tohoku Utopia? Alternative Paths after
March 11, 2011, ' in White.B.ed.,Japan's
Possible Futures: Emerging Generations,
Identities and Worldviews, Emic Press

2014 Reiko Ogawa et. Al Configuration of
Migration and Long-Term Care in East
Asia: The Intersection between Migration

and Care Regimes in Japan and Taiwan,
Eds. Raymond K. H. Chan, Lih-Rong Wang
and Jens O. Zinn, Social Issues and
Policies in Asia: Family, Ageing and Work,
Cambridge Scholars Publishing,
pp.117-140

2014 Reiko Ogawa et al. " Globalization
and Transformation of Care in Japan ",
Ed. Mika Mervio, Contemporary Social
Issues in East Asian Societies:
Examining the Spectrum of Public and
Private Spheres, Information Science
Reference: Hershey, p86-105.

2013 小川玲子 他 『『ケアの社会学-当事
者主権の福祉社会へ』上野千鶴子著、太田
出版、『平和を考えるための100冊+ 』法
律文化社p270-273

2013 Bruce White et. Al. 'Reassembling
familial intimacy: civil, fringe, and popular youth
visions of the Japanese home and family,' in
Ronald, R., & Alexy, A. (Eds.). *Home and family
in Japan: continuity and transformation*,
pp.25-45, Routledge.

〔その他〕
ホームページ等 なし

6. 研究組織
(1)研究代表者
西村祐子 (Nishimura, Yuko)
駒澤大学総合教育研究部 教授
研究者番号：80276451

(2)研究分担者
小川玲子 (Ogawa, Reiko)
九州大学 法学研究科 准教授
研究者番号：30432884

ブルース・ホワイト (Bruce, White)
同志社大学国際教育インスティテュート
准教授
研究者番号：00411059